

茶の湯 恩籙抄

戸田 勝久 著

2014年7月刊行

A5判・652頁／定価：本体5,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1751-9

裏千家今日庵業躰として、教授者(茶名宗安)と併せて、茶の湯の研究に従事してきた著者の近年の業績を集成。今日庵歴代一人ひとりについての論考「裏千家 今日庵歴代」(13篇)、茶の湯ゆかりの人物をめぐって茶の湯の精髓が語られる「茶の湯掃苔抄」(12篇)、時空を自在に行き来する「江戸東京茶の湯散歩」(深川編8篇・日本橋編16篇)の3部で構成する。

目次

戸田勝久著『護國寺 茶の湯物語』(渡辺 保)
井伊直弼著 戸田勝久校注『茶湯一会集・閑夜茶話』(岡本浩一)
戸田勝久著『武野紹鷗 茶と文藝』(廣木一人)
戸田勝久先生喜寿記念論集刊行会編『武野紹鷗 わびの創造』(谷 晃)
戸田勝久先生喜寿記念論集刊行会編『武野紹鷗 わびの創造』(矢内一磨)

第一部 裏千家 今日庵歴代

『南方録』にみる露地の思想
——紹鷗と利休の節義について
四座役者目録の少庵——能と茶の湯との邂逅(であい)
茶室に托す侘茶の心——宗旦の又隠、今日庵、寒雲亭
仙叟と金沢——脇田家、直賢・直能・直長の三代
常叟宗室の軌跡——立花實山との交誼と松山藩への転出
六閑齋——武蔵野にむすび露
竺叟 如心と一燈との架け橋
——祖父宗全をめぐる群像のもなか
一燈による今日庵茶道の開闢
——速水宗達に魅せられた学徒のこと
不見斎玄室の大居士二百年遠忌
認得斎の背景にあるもの——俳諧の滲透と煎茶の盛行
玄々斎と伊勢松坂——小津松洞庵の春秋
了以 素庵に連綿する又妙斎直叟
——その功績を寺西宗二名誉教授に尋く
圓能斎鉄中の東京時代——久松伯爵家と寒雲亭

第二部 茶の湯掃苔抄

武相荘の白洲正子
柳宗悦の「茶衣メサデ」
宗観井伊直弼と水戸徳川家
加藤六美学長の風逸
華頂宮尊超法親王
扶佐子のアルバム
尾張藩 横井家と武野家——青松葉事件の悲惨
益田鈍翁と杉崎湘南庵
片野青邱から野崎幻庵へ
愛知県士族 柴山準行——長司祭波得と号不言の茶の湯
縫いかけの片袖——慶應義塾と文化学院
尾道戸田家 幽棲軒と不偶庵

第三部 江戸東京茶の湯散歩

深川編

道しるべ／俳諧の茶事 海辺橋・採茶庵跡／御座船の数奇
隅田川遊覧／清澄庭園 岩崎家の文化／靈巖寺 楽翁 松平定
信／冬木町 彌平治と小平次／浄心寺 三澤局お秀の方

日本橋編

道しるべ／空日庵趾 新堀の田中宗ト／河村瑞賢 新堀新川
茅場町／琴士 常真居士 八丁堀組同心今泉氏／其角と俎徠
山王社の御旅所／茅場町葉師 圓朝の心眼／近代の黎明 潤
一郎の「幼少時代」／靱彦の「茶室」陰翳礼讃／蠣殻町と
天心『茶の本』誕生／浜町川上家 宮崎晃蓮先生／大傳馬町
川喜多半泥子の世界／松坂の鼎玄斎 田中宋トの恩師／竹
川竹斎 茅場町に江戸店／長井美濃 深川本誓寺にも墓塔／
小津濱萩 十四代茂右衛門の風雅／大傳馬町と松阪 小津 長
谷川 長井の三大家

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	茶の湯 恩籙抄	本体5,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1751-9	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	☐ 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) ☐ 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

本書HPのQRコード

書店番線印